

●コ

組織運営や広報について、
専門家の支援（無料）を
受けた人が半数

※補助金、情報発信、交流ツールは
目的やゴールを見直す
タイミングとして用いた

●ケ

税金

使える補助金が少ない
補助金の情報をどこで知ればいいか
わからない

補助金

目的にあわせ、費目となく

認識を ニダッタラ大丈夫だろうと
どうおもて見ているか

額が月々として補助金

と接する関係性 アドバイスの
人々場

●C

補助金のスタートアップ支援は意義がある
一方、自立が難しい活動に
どのような支援を行うのか

多様な
専門家につけ、追せ

専門家派遣

制度の活用

↓
可能性、検証をしてみよう
地域にとってありがたい

まちづくり

アドバイザー

アドバイス、マッチング
情報のインターフェース

町内会との連携

行政の支援があれば...

つながりやすくなる?

連携をたづねるのは

お互い、継続して

「くどきあ々す」カ

●カ

紙媒体の情報発信がまだまだ効果的

●ク

京都市の媒体で、
活動情報を発信してほしい

●ス

自治会・町内会
協力者や仲間集めに関心
組織づくりに苦勞

●オ

任意団体と個人で、
特に仲間集めに苦勞している

仲よしクラブ"にならなため...

どうやって人まきなのか意識的に

●エ

主に苦勞している点

- ・資金不足
- ・組織やチームの運営
- ・仲間集め
- ・情報発信

次の年度にふりかえり

学生の活動など

年度によってX-1に
かわる

活動のテーマによってキーワードが
変わってくるかも
例えば:

自由テーマの補助金

課題解決の補助金

スタ

継続

アドバイス
お役所

フェーズ

ニーズの多様性

●ウとナ

京都市の支援としてニーズの高いもの

- ・交流会、連携創出
- ・補助金
- ・活動の普及・啓発

●E

市民活動と企業との結びつきが

ますます重要

(区役所の審議会に)

●チ

<企業との協働 理由>

企画や情報発信のノウハウを学ぶ
資金や場所の協力を期待
社会的役割を期待

補助金

目的にあわせて、費目を変えて
おこなうこと
顔が見えたらそこで補助金
を渡せる関係性をつくる

次の

担い手への引きつけ
学生の活動など
年々におてメンバーが
かわる

●タ

<京都市との協働 理由>

信用力・情報発信力・ネットワークを期待
市民同士の協働のコーディネートを期待
But: 職員との距離を感じる

連携をなげけるのは

お互いに継続して

「くどきおとす」か。

目的に合わせた広報

活動のながみにより

行政にも「品か」はいい

ネット
基金

●シ

交流会に期待すること
人とのつながりや知識やアイデアの吸収

交流会が「不足している」

交流会が「充実している」

朝カフェ
交流の場

つながりた
相手の多様性

●ス

自治会・町内会
協力者や仲間集めに
組織づくりに苦労

●F

自治会等の活動と
任意団体・NPOの活動の
連携が増えると、
地域にとっても良い効果が現れる

●オ

任意団体と個人で、
特に仲間集めに苦労している

●ツ

<自治会・町内会、地域組織との協働 理由>

地域に根差した活動は大切
地元の人に認められる活動にしたい
But: 接点が薄い、新しい取組
受け入れてもらえないかも

●テ

<NPO、任意団体との協働 理由>

自由な発想や企画力を期待
NPO同士、任意団体同士による
連携を深めたい

●セとソ

外部との協働が必要と
感じている人多数
特に、NPOと任意団体で多数

町内会との連携

行政の支援が

あれば……

つながりやすくなる?